

労働安全衛生 企業内教育資料

1. 安全の心得

* 「保護具は正しく着用」、自分の身を守る

2. 災害事例

1) 保護メガネ未着用でキリコが目に入った。

- ①発生状況；鉄板上の表面を綺麗にするため
グラインダーを使って表面を
滑らかに削っていたところ、
削った切子が目に入った。

- ②発生要因；・グラインダーを使用するのに
保護メガネを使用しなかった。
・普段眼鏡をかけているので保護
眼鏡を掛けなくても良いと思った。

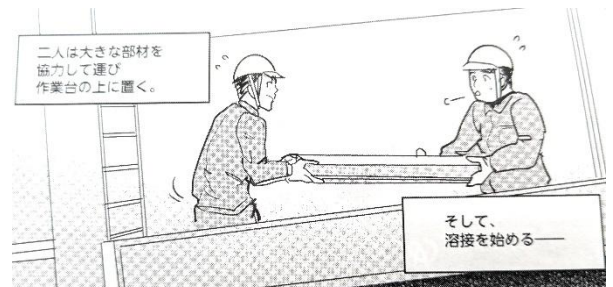
- ③再発防止策・グラインダー掛けの時は専用保護メガネを着用する。
・グラインダー掛けをする際、周囲を安全柵で囲う、周りに人がいない場所、
もしくは来ない場所で行う。



2) 重量物が足の上に落ちて指に損傷を負った。

- ①発生状況；重量物（鉄骨）を 2 人で運搬中に
皮手が滑り、鉄骨が靴の上に落下し
指が負傷した。
- ②発生要因・鉄骨を持つ態勢が悪く、バランスが
崩れて、片方に引っ張られて落下した。
・鉄骨が靴の上に落下、安全靴を履いて
いなかったため、指を負傷した。

- ③再発防止策・作業手順に沿って、正しい姿勢で荷物を運ぶ。
・クレーン、台車などを使い、極力手で持つ距離を短くする。
・安全靴を着用する。



※現場環境にあった保護具（ヘルメット、保護メガネ、防音保護具、呼吸用保護具、手袋、安全靴、ハーネスなど）の着用を守る。

実施日；令和 年 月 日

*私は上記内容を確認致しましたので署名します。

教育受講者	氏 名		
教育指導者	会社名	役 職	氏 名